

GREEN RANGER NEWS

NPO法人 蔵王のブナと水を守る会

2009/5 Vol.194

宮城県は桜の季節も過ぎて、山の新緑は裾野から日に日に山頂を目指し、田んぼでは田植えの準備がはじまる季節になりました。山菜もおいしい季節となり、一年の内でもっとも野山に人があふれる時期でもあります。4月から6月にかけて会の行事も忙しくなります。このところ新型インフルエンザがニュースをにぎわしていますが、健康管理に心がけ、最高の季節を目一杯楽しみたいものです。

4月の活動報告 定例会

4月12日、13名の参加者により、苗畑の整理をしました。去年発芽した苗はすべて床替えを終えて、畝の曲がりとはもかく、整然と植え替えられました。

蔵王をもっと知るハイキングII《春を告げる植物観察ハイク》 長澤さんからのレポートです。

参加者 (ブナの会会員) 6名=丹野、八木、高橋、古舘、佐藤利男、長澤
(インストラクター) 4名(除く長澤)
(一般) 2名=保険料400円はインストラクター協会に渡します。

合計12名

記事 曇りから晴れへの絶好の天気恵まれ、早春の雰囲気を楽しめた。9時15分第一駐車出発。管理事務所での情報収集でミズバショウ群生地への道の途中のカタクリ群落が見ごろと聞いたのでそちらへ向かう。Aサイトから谷川を渡り、100mほど登った先はカタクリとスミレの群落。足の踏み場もないという形容がぴったり。オウレンの白い小花も多い。谷川まで戻り、川に沿ったせせらぎの道を遡る。カタクリを主にショウジョウバカマやエンレイソウがそこかしこにある。ヒメイチゲも可憐な花を咲かせていた。谷川の石には緑色の苔がびっしりと生えほとぼしる水流を見ていると、ミニ奥入瀬とでも言えそうな景観だ。さらに森林浴コースを登ってゆくとここにもカタクリが今を盛りと咲き誇っていた。途中でスハマソウはないかとみんなで探したが、残念ながら見つからず。神嶺林道に出て左折。白萩林道に入ったところでも道の両側の広葉樹林の林床にはカタクリの群落が見られた。再び神嶺林道に戻り南下。予定の12時になってしまったが、野営場のゲート付近で昼食にした。その後Dサイト付近の林床にも多くのカタクリが咲いているのを見、13時30に出発地に戻った。その少し手前の道路際でフデリンドウの花をみんなで見ていたところ足もとから突然長いものによろり。1m30cmはありそうなシマヘビがあわてて逃げ出し、一気に飛び移り登って行った。その見事さに一同唖然。早春のひと時にふさわしいサプライズだった。

なお、お目当てのひとつだったヒメギフチョウには会えなかった。

感想 天候に恵まれ、時期もぴったり。谷川のコースは雰囲気満点。多くの方に勧めたいコースです。

5月の行事案内

春を食べる会・しいたけの植菌

日時 5月3日(憲法記念日) 10:00~13:30

集合場所 白石市役所 9:30

グリーンレンジャーは作業小屋(丸太小屋)に9:00集合

参加費 中学生以上 1,000円(材料費、保険料込み)

小学生以下 100円(保険料)

持ち物 昼食、箸、皿、軍手

定例会 日 時 5月10日(日)
集合 白石市役所 9:30
苗畑(深谷) 10:00
内容 畑の草取り

蔵王をもっと知るハイキングⅡ《夏を告げる渡り鳥観察ハイク》

日 時 5月23日(土) 9:00~12:00
場 所 蔵王野鳥の森「ことりはうす」駐車場集合・解散
内 容 蔵王に夏の訪れを告げる夏鳥たちを探します。まず、ことりはうすで鳥に関する基本的なことを学びましょう。そのあと、双眼鏡を手に、森に入ります。どんな鳥に会えるでしょうか?見えなくともさえずりを聞いて、特徴を覚えましょう。
澄川まで行き、戻ります。
費 用 保険料200円のほか「ことりはうす」入館料(400円?)がかかります。

森の教室

日 時 5月24日(日) 10:00 作業小屋(丸太小屋)
内 容 事務局に確認願います。

NPO法人

蔵王のブナと水を守る会 事務局

〒989-0231

宮城県白石市福岡蔵本字滝下102 TEL&FAX 0224 25-3820

ウェブサイトURL <http://www.zao.org/>

e-mail mail@zao.org